



みんなで子育て No.6

夏は家族と過ごす。家庭教育学級への参加も増加

岐阜市立市橋小学校

サイエンスショー・ビー玉万華鏡

(講演会型
+体験活動型)

開催日:8月9日(金)

講師: NPOサイエンスもの
づくりエジソンの会
華井章裕氏・奥村雄二氏
日比野きみ江氏



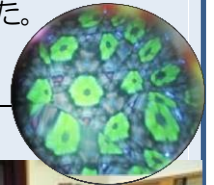
◇夏休み中の家庭教育学級サイエンスショー

- ・講師が「親子で実験します」と話されたとおりで多くの実験で保護者も体験していました。
- ・ペンシルパルレオンを指に差し込んで飛ばす、楽しい。飛ばしている途中で割れる。「えっ、何で?」という子、そこで「みかんの汁」の種明かし。



コメント

実験を体験をすること、子どもが不思議がるのが大事と話されていました。
安全・安心で、手際がよく、片づけも短時間でした。
保護者の体験を重視している姿勢がすばらしいですね。親子で楽しい時間が過ごせていると感じました。



- ・沢山の実験の中でも、大人気は、大きな空気砲。感知器に反応しない煙で部屋の中で使用できます。遠くにいても風圧を感じる事ができ、子どもが大喜び。
- ・ビー玉万華鏡の製作、見るものによって模様や色に変化、「きれい!」

<感想等>

児童・最初のサイエンスショーが面白かったです。万華鏡を作るのが楽しかったです。容器から魔法の薬を入れたら泡が出てきたのが面白かったです。
・マジックは、みかんの汁をつけて風船を飛ばすと割れるなんて、ビックリしました。とても楽しくって、また来たいです。

保護者・子どもたちのワクワク感が見ていてすごく感じました。とても楽しい企画をありがとうございました。

- ・薬品を使った実験で液体の色が変わったり泡が出たりと、大人でも楽しめるショーで来て良かったです。家で段ボールを使って、作りたいと思います。



笠松町子育てサロン

笑顔でベビーマッサージ

場所: 笠松町第一保育所 8月14日(水) 体験活動型+サロン型

★講師: 福田 恵氏

○参加人数: 8家族 2家族が夫婦で参加 担当者3名

○内容

- ・スキンシップが大事。
- ・基本は、末梢に向かってマッサージ。(心臓に向かっては行わない。)
- ・オイルはオリーブ、エキストラバージンオイル。(口に入っても大丈夫なオイル)
- ・おなかなどで良い。子どもの顔を見て、言葉をかけ、柔和な表情や笑顔を見せることがよい。

○感想など

- ・興味があって参加しました。今度、家でやってみようと思う。子どもは機嫌が良かった。
- ・気持ちよさそう、笑顔ひねれた。いつも面倒見てくれている夫も良かった。
- ・子どもの機嫌が良かったどうかわからなかったが、私はよかった。

○毎月行われるサロン

台風接近が心配でしたが実施できました。お盆ということで、両親で参加される家族も複数ありました。長年実践されている講師により、安心してマッサージの体験活動がされ、子どもと楽しむ時間となりました。

体重、身長計測、希望者には育児相談もあり、多くの方が利用されています。毎月行う事、継続していること等、利用のしやすさを感じました。



心と体を伸びやかに育むおもちゃ遊び (講演会型+体験活動型+サロン型)

開催日:8月24日(土)
講師:おもちゃコンサルタント加藤 理香 氏



●前半は、お話と遊び
保護者の膝の上での遊び、親が子の手を持ちたり、タオルを使ったりしての遊び、リングドールの紹介、歌も入って楽しく行いました。新聞紙を使っての遊びをしながら、破って球を作って、「はらぺこあおむし」づくり。「はらぺこあおむし」の絵本での紹介。



●後半は木のおもちゃ中心で親子で遊ぶ
木のおもちゃのお話もあり、例えば「つみぼぼ」は飛騨の「さるぼぼ」をもとに、岐阜県産の杉(やわらかくあたたかい)、イタヤカエデ(かたい)を使って作られているお話や、その場にひょうたん型イブブロック、まああるいつみき、音になる積み木等様々な木のおもちゃや、「グッド・トイ」と言われるおもちゃがあり、子どもたちは夢中になって遊ぶことができました。



参加された親子に、すべて違う木でつくられた切符を渡しています。講師がそれぞれの家族を回り、切符の回収と共に話をされ、おもちゃや木の学び、親子での遊びで充実した時間となりました。

○感想

- ・自分で遊び方を考えてやっている姿がうれしい。
- ・こんなに広い場所でこんなにたくさんのおもちゃで遊べてよかった。
- ・楽しかった。父:土日しか遊べないので、一緒に来れてよかった。
- ・満足度100%です。普段気づかないことを教えてもらいました。子どもよりも私たち大人の方が楽しみ、勉強させてもらいました。次回、機会があったらまた参加したいです。

コメント

- ・身近にあるものはすべて遊びにつながられます。工夫次第です。岐阜県産のおもちゃも多く紹介されました。岐阜県以上に森林の面積の割合が大きい全国1位の県は?木に関する学びもとても多くありました。自分で見つけた遊び方を何度も繰り返す姿に微笑んで声をかける保護者の姿が印象的でした。



山県市では、家庭教育学級として市の人権講演会にも参加しています。

山県市合同研修会「山県市人権教育講演会:「報道と人権」

実施日:8月23日(金) 14:00~15:30 講師:河野 義行 氏 会場:美山中央公民館

●1994年6月27日に松本市で発生したサリン事件の第一通報者の河野さんは、奥さんが意識不明、家族やご自身も被害を受け入院されました。警察による家宅捜索が行われたため、情報を確かめないうままの報道により犯人扱いされました。翌年3月20日、地元新聞社への民事訴訟を起こした同日に地下鉄サリン事件が起きたことから、河野さんの容疑が晴れました。それまでの間の警察やマスコミ、世間の対応、家族の姿を克明に話されました。



○1時間30分の穏やかなお話はあっという間で、聴く側は緊張感が続き、警察や報道による扱いの恐ろしさを感じました。自分ではとても河野さんのような対応を考えたり、実行したりできないと思いました。

○河野さんから、ここまでやったのは

- ・妻が生きていた。もし、私が逮捕されたら妻はどうなる。
 - ・孤立しなかった。私を知っている人は離れなかった。
- と話されました。

○主催者から、情報を正確に聞き取ることが大事である。家族の絆を感じ、ほのぼのする。一人大きな友を作る事ができたのは河野さんの人柄である。と話されました。

●コメント

- ・家族の絆の強さを感じる内容であり、この危機に対する構え、警察の圧力に対し河野さんを信じて疑わない家族に感動しました。また、世間に犯人扱いされても信じてくれる人の存在の大きさを感じました。この内容は家族でも話すことが重要であると感じました。
- ・このような講演会を、通常の各園・所、学校での家庭教育学級で開催はなかなかできないと思います。参加者が多い合同での良さがありますね。

